



株式会社 ホリエイ
営業部長 野呂 英樹

自己紹介

元青森県庁職員(地方上級、水産技術職)



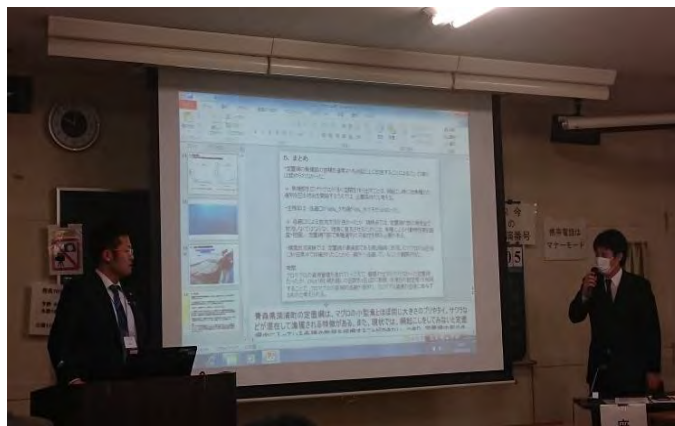
漁師(ホリエイ)



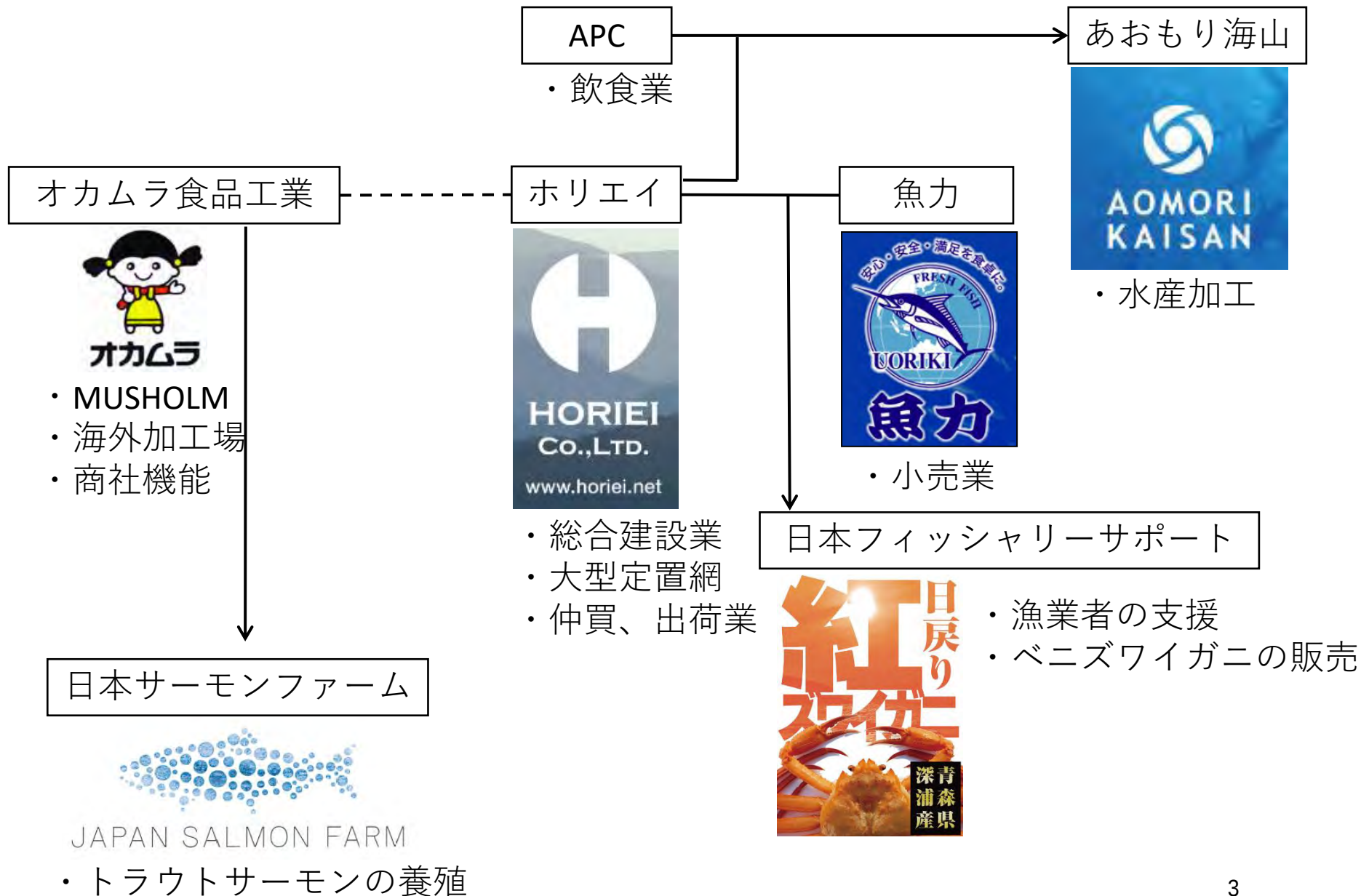
研究者(ホリエイ)

養殖
(日本サーモンファーム)

加工業者(あおり海山)



関連会社の相関図



会社概要①：（株）ホリエイの事業内容

クロマグロ資源の減少を受け、（株）ホリエイも率先して資源管理に取り組む

(5) 経 済 第44771号 (第三種郵便物認可) 東 興

網に「逃避口」9割近く生存



定置網に設けたトンネル状の「逃避口」（円内）から出入りする小型クロマグロ＝6月下旬、深浦町松神沖（ホリエイ提供）

水産総研など深浦沖で実験

2015年から漁獲規制が始まったクロマグロ小型魚に
し、県と県定置漁業協会は19日、青森市のアラスカで、資源
管理に関する研究技術報告会を開いた。水産関係の研究機関
や大学、漁業会社などをつくる研究グループが、定置網に入
った小型魚を生きたまま網の外に放す技術の開発状況を発表
した。
（工藤俊介）

小型マグロ放流法開発

研究グループは、県産業技術
センター水産総合研究所（平内
町）、水産総合研究センター水
産工学研究所（茨城県）、東京
海洋大学、深浦町の大型定置漁
業「ホリエイ」の4団体で構成。
実験は15年6～8月、深浦町沖
で実施した。
定置網にかかった小型魚のう
ち、タモ網ですくって生け簀に
放した魚の大部分は死んだが、
網の一部に設けた「逃避口」か
ら生け簀に逃れた魚の生存率は
9割近くに上ったという。
研究グループ代表の秋山清二
・東京海洋大学准教授は「生存率
の高さを見ると、漁具への逃避
口の設置は有効な放流方法と考
えられる」と報告。ブリなど他
の魚が網から逃げる場合もあっ
たため、「今後は小型マグロだ
けを放流する技術の開発に努め
たい」と語った。
県水産振興課の野呂恭成課長
は「マグロ資源管理では、小型
魚のみを放流する技術が求めら
れている。研究機関には引き続
き、効果的な放流方法の開発に
取り組んでもらいたい」と話し
た。

平成26年度農林水産試験研究費補助金

農林水産業の革新的技術緊急展開事業

「定置網に入網したクロマグロ幼魚の放流技術の開発」



（写真：大型円形生簀の中を遊泳するクロマグロ幼魚）

クロマグロ幼魚放流技術開発研究グループ

国立大学法人 東京海洋大学

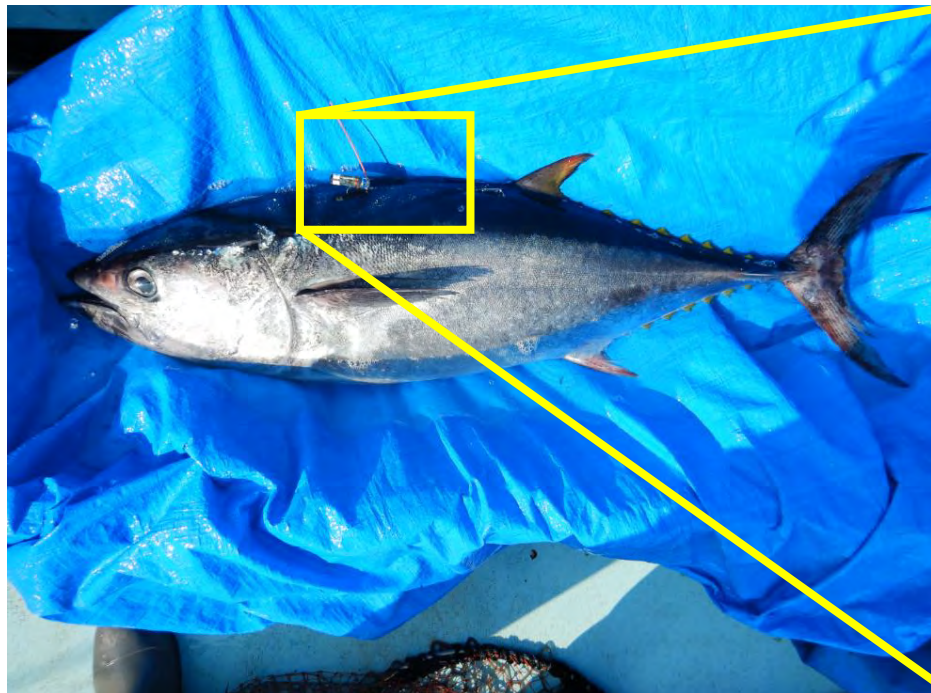
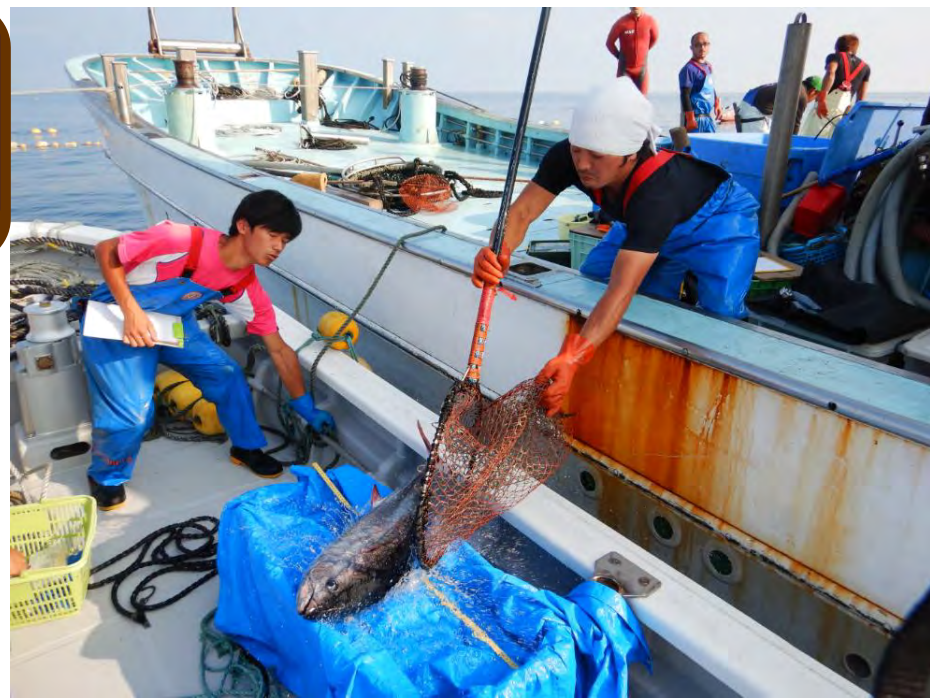
地方独立行政法人 青森県産業技術センター水産総合研究所

国立研究開発法人 水産総合研究センター水産工学研究所

株式会社 ホリエイ

定置網に入出網する クロマグロ小型魚・ブリ・マダイ の行動解析

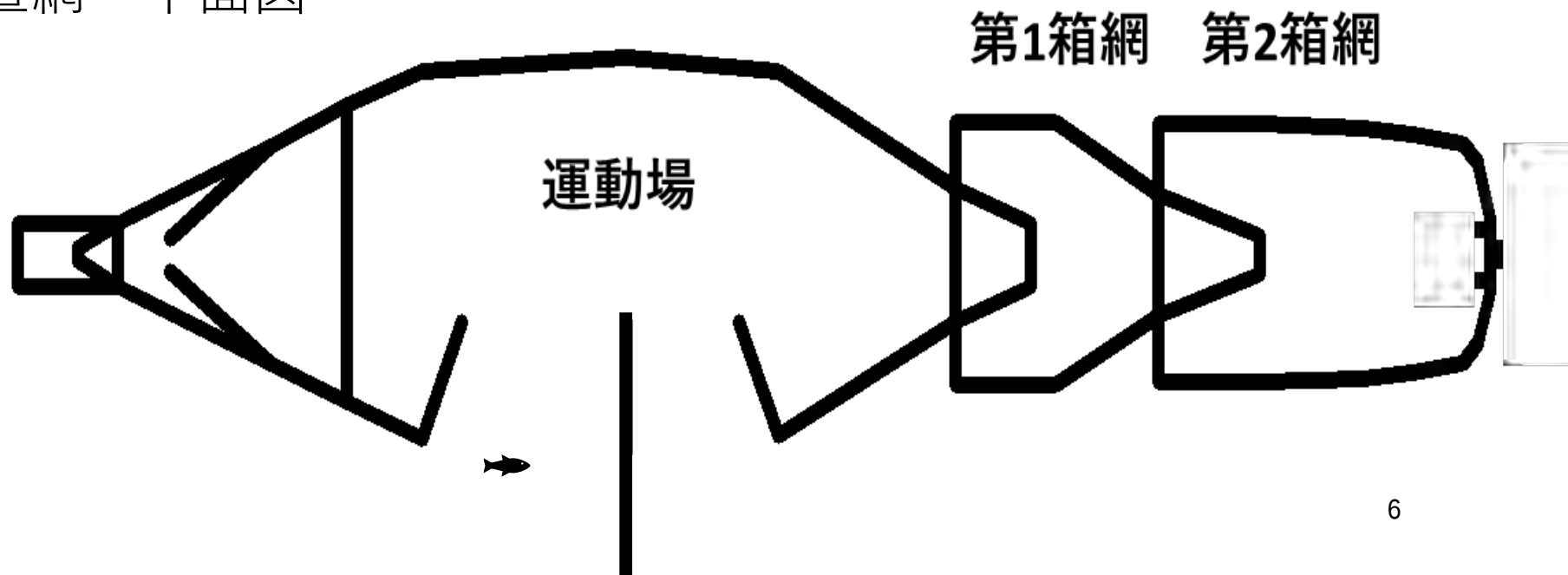
記録に成功した個体数は、106個体。
（クロマグロ50個体、ブリ28個体、タイ28
個体）
総合計記録時間は約1,795時間。



クロマグロ小型魚の入出網メカニズム

- ①夜間や潮の濁りによって見通しが良くないときに（網を恐れることなく近づく）、定置網に入網。
- ②夜から昼に代わるタイミングや、海中での見通しが良くなるタイミングなどで、漏斗口の幅よりも長い距離を視認できるようになると、漏斗口から出ていきづらくなる（箱網から逸出しづらい）。
- ③逆に、昼間でも、海中の見通しが悪く、網を認識する距離が短い場合は、網地への恐怖心がないことから、頻繁に出入りする。

定置網 平面図



箱網の入出網回数

箱網への入網回数（運動場→箱、1箱→2箱）

	クロマグロ	ブリ	マダイ
個体数	19	10	14
述べ回数	44	17	26

箱網からの出網回数（箱→運動場、2箱→1箱）

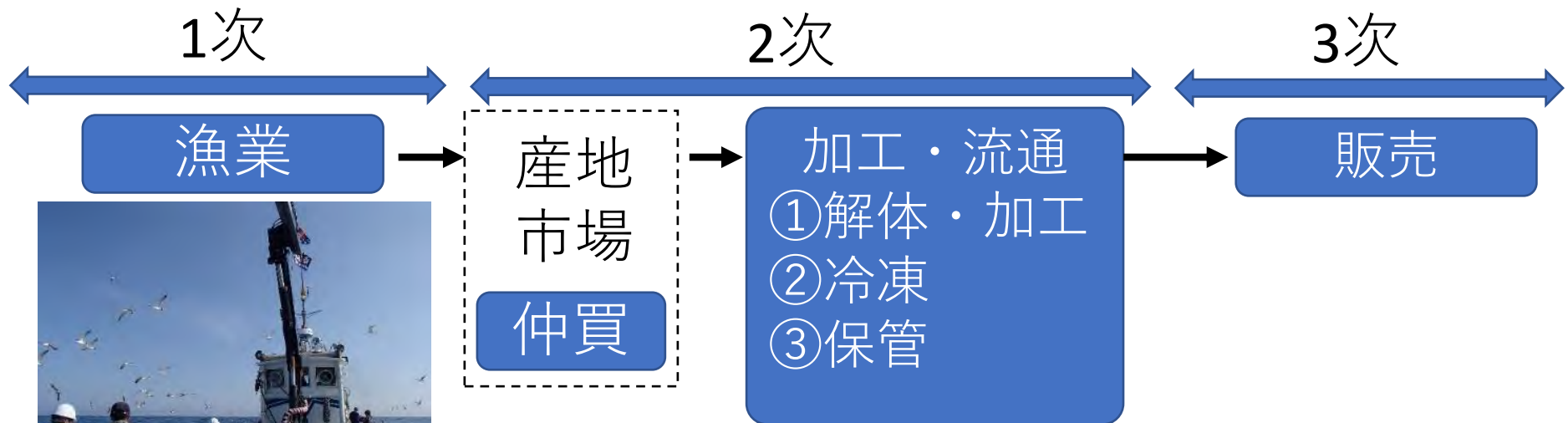
	クロマグロ	ブリ	マダイ
個体数	29	16	22
述べ回数	57	28	37

本研究は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」の支援を受けて行った。

会社概要②：（株）あおり海山

あおり海山では、

自社グループでクロマグロを漁獲・加工・販売



会社概要③： 日本サーモンファーム株式会社



JAPAN SALMON FARM

— 日本サーモンファーム株式会社 —



COMPANY
会社情報

BUSINESS
事業内容

RELEASE
リリース

RECRUIT
採用情報

CONTACT
お問い合わせ

日本語 English 中文

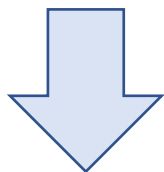
TOPICS

- 2017年7月20日 お知らせが入ります。お知らせが入ります。
- 2017年7月20日 お知らせが入ります。お知らせが入ります。
- 2017年7月20日 お知らせが入ります。お知らせが入ります。

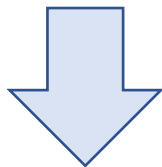
会社概要③： 深浦町でのサーモン養殖の現状

養殖の流れと 深浦町の養殖場の場所と現状

孵化・稚魚養殖
(卵から5g位まで)



中間魚養殖
(5gから500g位まで)



成魚養殖
(500gから3kg位まで)

1

湧き壺の滝（ふ化場）
2016年8月開始済



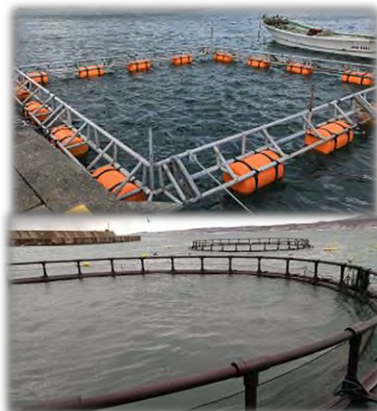
2

大峰川中間魚育成場
約13,000m²



3

深浦海面養殖場
2017年11月～



4

北金ヶ沢海面養殖場
2016年11月～



新たな取り組み(2022年12月13日)

4者協定(秋田県、秋田県漁連、八峰町、JSF)締結し、岩館地区での試験養殖2年目



- ・各浜によって事情が異なる
 - ・経営規模も異なる
- 目指すところは様々あっていい。

同じ事をやってもいいし、人と違うことをやってもいい。

海洋環境が激変している中、生態についての研究がもっと必要なのでは。

自然・環境に順応して、時代とともに変化していくことが重要。

私の漁業

佐藤栄治郎

株式会社 えっこ

Fresh Fish & Dream from AKITA

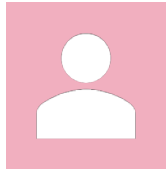
2023. 03. 28

プロフィール

株式会社えっこ

Fresh Fish & Dream from AKITA

profile



隆栄丸(りゅうえいまる)

4代目船長 佐藤栄治郎(さとうえいじろう)

漁業歴：12年 (18歳～現在)

18歳
高校卒業



漁師歴45年の
父親が営む船に乗り
修行



26歳
船長



今年漁師を始めて
12年目



父親と乗組員数名で
操業



エリア：秋田県で漁業

漁法：底曳き網(そこびきあみ)漁業、釣り船、素潜り

取組み

株式会社えっこ

Fresh Fish & Dream from AKITA

efforts

～オンライン販売での気づき～



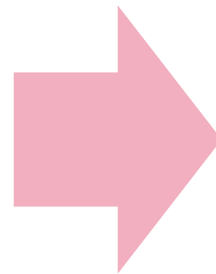
消費者の生の声^{（声）}を聞けるようになった



他の産直ECでは売り物にならない魚が高^{（高）}値で取引^{（取引）}されており
魚に対する価^{（価）}値観^{（値観）}も大きく変わった



参考: 顔が見える食品。 - 株式会社シフラ (cifra.co.jp)



生産者さんの声^{（声）}や顔^{（顔）}

漁業においても
「どこ」からではなく「だれ」^{（だれ）}から買うか

Fishing Experience

問題点

- ・ ハローワークで募集していない
- ・ 農業と違って陸で見たり体験したりすることができない
- ・ 一般の方は、**情報が少ない**
- ・ テレビで放送される、マグロ漁師のような**偏ったイメージが**

解決策

- ・ 実際にライトに本物の漁業現場が体験できる**漁業体験**を主催した

成 果

- ・ **若い漁師が増え**、短期間でかなりの成果がでた



SNS activities

取組み内容

たくさんの人に
漁業を知ってもらいたい



そこで

Twitter



Instagram



TikTok



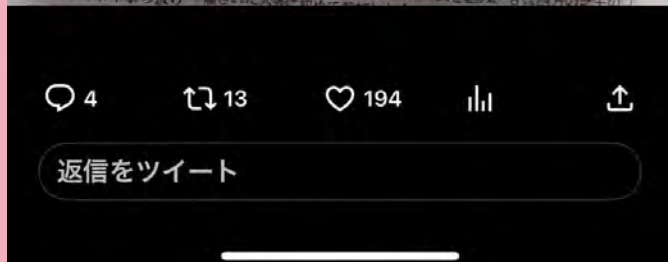
漁業や魚について積極的に発信

工夫した点

- ・ 幅広い層に印象付けてもらうため派手な髪色や奇抜なカラーのカップを着用
- ・ マスコットとして覚えてもらえるよう工夫した

成 果

- ・ 現在TikTokのフォロワー21万人超え
- ・ Twitterでは多くの問い合わせやコメントなどを幅広い層からいただいている



インターン受け入れ

株式会社えっこ

Fresh Fish & Dream from AKITA

intern Acceptance

取組み内容

- ・ SNSを中心に連絡のあった学生の受け入れ
- ・ 従業員に貸している借家に一緒に住み込んでもらい**漁師の生活を体験**

実績

- ・ 東京大学
- ・ 大阪大学
- ・ 東京農業大学
- ・ 立命館
- ・ 新潟大学
- ・ 学習院大学、
- ・ 秋田県内の大学生など

全国問わず
受け入れてきた





恵みの海を将来

漁業振興・資源保護誓言

式典



最優秀作文を朗読する小林さん

「私の元気の源は家族が作るキバサ。感謝して食べたいと思います」。八峰町の八森小学校3年の小林桜和さん(8)は、約770人が出席した県立武道館での式典で、作文コンクールで最優秀賞に選ばれた「海とわたしの家族」を大きな声で朗読した。

水産加工業を営む父・優大さん(33)らが作るキバサを「おみそ汁に入れたり、お豆腐と一緒に食べたりしています。シャキシャキして不思議な感じが大好きです。家族みんなが海の生き物のおかげで仕事ができます。これからも海の恵みもなくなってしまう」と述べた。

の命をもらって食べたいです」と述べた。

作文発表後、天皇、皇后両陛下に「作文素晴らしいです」「海の生き物のおかげで仕事ができるんだね」と声を掛けられて「うれしかった」とはかんだ。

資源保護を願う、両陛下は漁業関係者に4種類の魚介類を手渡された。ハタハタを受け取った男鹿市の漁師・西方強さん(60)は「資源を守って」とあらためて強く思った。

漁を営む北浦地区はかつて大量にハタハタが取れたが、近年は不漁が続く。「長く県民に愛され食べられてきた。生き物たちのおかげで仕事が取れなくなれば豊かな食文化」



海づくりメッセージを読み上げる佐藤栄治郎さんと妻の未来さん

県内漁業者は長年独自の漁獲制限に取り組んでいるが、日本海を回遊するハタハタは広域的な資源管理が重要だと感じている。「今後は隣県とも力を合わせる必要がある」とも力を入れている。秋田になくはならぬ魚を将来に残す取り方を、今進めなければいけない。両陛下から渡された魚介類は今後、県内各地で放流される。

にかほ市の漁師・佐藤栄治郎さん(52)は漁業への思いを發表した。「父の跡を継いで立派な漁師になろうと頑張ってきた。若い仲間が増え始めたら、今度は自分が手本となるよう努力する」と決意を述

父・真智夫さん(60)が底引網漁船で海に乗り出す姿に憧れ、漁業を志した。就業8年目。「一度もやめようと思つたことはない」と言い切る。需要の高い魚が大漁だった時の喜びは何にも代えがたいという。

就業者の減少に歯止めがかけられない本県の状況には「もっと漁業が魅力的にならないと人は来ない」と考える。だが「秋田の魚はうまい。もっと流通や発信方法を工夫できれば評価は高まる」と信じる。漁業を盛り上げるため知恵を絞りたいと前を向いた。

(高橋さつき)



現状課題に感じること

株式会社えっこ

Fresh Fish & Dream from AKITA

subject

- 1 水揚げ(売上)は別なのに船が出る時はみんな一緒でないと出航できない。
- 2 出航基準が他船の熱量に依存してしまう。
(若くて舐められているというのもあると思う)
- 3 朝8時以降は絶対に出航しない。
(単独で出航することは許されない)
- 4 県は漁業権は出すが、地元には反対派がいたら操業できない。
(行政は揉め事を避けている)
- 5 権利なくても黙認されているところとそうじゃないところがある。



今後の展望

future perspective

若い漁師が増えて来ているのでこれまで減っていきただけだったところに

船をもう1船購入し、従業員を増やし

2船体制で底曳き網漁をやっていきたいと考えている。

また、秋田県はシケが多く休みの日が多い為6次産業化を目指し、

乗組員にもっと給料が払えるようにしていきたい。

